

あとかき

この度、早稲田大学心理学会が解散することになり記念誌発行が企画されました。

学会活動はこれまで66年間に及びました。その間、心理学の知識を様々な形で提供し続け、会員との交流の場を設けてきました。そしてその役割をいま終えることになりました。

2000年前後からの約20年間、学会活動を支え、今回記念誌作成にも寄与下さった理事の方々に一言お礼を申し上げたいと思います。

ここに至るまで大所高所から見守って下さった大先輩の小林源氏、木村裕氏、柴田良一氏。2000年からボランティアでHPを作成し続けて下さった市原 信氏。

事務局として宣伝や広報のため、瓦版の作成、講演等のテープ起こし及び大会や教養講座の手書き立て看板の作成を一手に引き受けて下さった中村誠氏。財務管理を担い会議進行、外部との連絡、記念誌の編集見本の作成等で力を発揮して下さいました朝岡美好氏。

教え子とのネットワークで瓦版の執筆者を推薦して下さった乙部和昭氏。この20年間に入会し研究者と理事の二つをこなしながら計画立案に貢献して下さいました押山千秋氏。途中から海外勤務になりながらも、海外から連載記事を送って下さった黒坂和彦氏。黒坂氏を推薦し、参会者へのアンケート調査とまとめをして下さった矢野裕之氏。建設的な意見を出して下さい、2020年のコロナ禍の中Web会議開催にも素早く対応して下さいました河合美子氏。監査役として長年じっと見守って下さった鈴木晶夫氏と松本芳之氏。最後に記念誌取りまとめの労を取って下さった谷口幸一氏、吉川政夫氏、中村誠氏。

学会を立上げ、多様な活動を展開してこられたのも心理学教室や会員の皆様、また多くの諸先輩方の力によるものと感謝申し上げます、ここに一定の区切りをつけて閉会できたことにお礼申し上げます次第です。

記念誌編集委員会代表 石井康智